

日本広告学会
第51回全国大会ご案内
[研究報告申し込みのご案内]

大会統一論題
スポーツと広告

— スポーツ×広告、スポーツ×マーケティングの可能性を検証する —

日本広告学会第51回全国大会

江戸川大学 駒木キャンパス

2020年10月23日(金)～25日(日)

大会運営委員長 江戸川大学 井上一郎

大会運営委員会事務局 江戸川大学メディアコミュニケーション学部井上一郎研究室内
〒270-0198 千葉県流山市駒木 474

お問い合わせアドレス「list.jaa2020@edogawa-u.ac.jp」

(※list と jaa2020 の間に (ドット) が入ります)

ご挨拶

2020 年秋に日本広告学会第 51 回全国大会を江戸川大学で開催することになりました。全国大会を本学で開催することは初めてのことであり光栄に思います。

本年は、統一論題を「スポーツと広告」としました。新型コロナウイルスの影響で、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の延期が政府から発表されましたが、「スポーツと広告」というテーマ自体が重要であることに変わりはありません。さまざまな立場、視点から会員の皆さまの間で議論が盛り上がる大会になるように最善を尽くす所存です。

新型コロナウイルスの今後の影響について、現段階では、予断を許さない状況ですので、ご参加される皆さまの安全面への配慮についても怠りなく準備を進めたいと思います。

2020 年 5 月 29 日

日本広告学会第 51 回全国大会
大会運営委員長 井上一郎（江戸川大学 メディアコミュニケーション学部）

1. 大会統一論題（大会テーマ）

スポーツと広告 —スポーツ×広告、スポーツ×マーケティングの可能性を検証する—

本年度の日本広告学会全国大会は、本学会全国大会における初めての試みとして「スポーツ×広告、スポーツ×マーケティング」の可能性について議論する。具体的には、広告主（協賛企業）サイドおよび協賛を受けた競技団体やスポーツ選手サイドの両面から次のような問題について検討、議論したい。

(1) 協賛企業の視点: 企業あるいは製品のブランドイメージ向上、販売促進などにどのような効果を上げたのか。

(2) 競技団体やスポーツ選手の視点: 企業から協賛を受けてどのようなメリットがあったのか。金銭的なサポート、技術的なサポート、競技団体や選手の認知向上など広告的な効果はどの程度あったのか。

今回のテーマは、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催というタイミングを捉えたものではあるが、その意義は「その場限り」のものではない。少なくとも次の 2 点において、学会員全体で共有すべき意義がある。

ひとつは、近年の全国大会でしばしば議論されている広告の範囲に関する点である。「従来型のマス広告以外」を含む広い意味合いで考えた場合、生活者の関心が向く領域はすべて「広告コミュニケーション」に含まれると考えるべきである。そのように考えると、生活者が多大な関心を寄せる対象としての「スポーツ」は、最も重要な広告コミュニケーション領域の一つである。

もうひとつは、広告の社会的な役割に関する点である。オリンピックならびにパラリンピックの底流には、スポーツを通じた普遍的な価値の啓発・再確認という社会的意義がある。そして、この社会的意義の実現に広告の果たす役割は決して小さくない。2016 年の全国大会は「広告の社会的意義を考える」というテーマで開催されたが、今回のテーマはこれをスポーツという文脈で再検討するという目論見でもある。

2. 日程（予定）

2020年10月23日（金）～10月25日（日）

- ・23日（金） 午後：各種委員会、理事会兼常任理事会
- ・24日（土） 基調講演、シンポジウム、会員総会、懇親会
- ・25日（日） プロジェクト研究報告、自由論題報告

3. 会場と交通アクセス

江戸川大学 駒木キャンパス

- ・つくばエクスプレス線 流山おおたかの森駅
 - ※ 無料スクールバスで約5分。停留所は東出口の路線バスの並びにあります。
 - ※ 徒歩約18分
- ・東武アーバンパークライン豊四季駅
 - ※ 徒歩約12分

注意：最寄り駅の流山おおたかの森駅および周辺駅（柏の葉キャンパス駅など）、秋葉原駅には、ビジネスホテルがあります。一方で、近年、周辺および都内のホテルも予約しにくくなっておりますので、お早めにご手配ください。

4. 研究報告のお申込について

本大会の「研究報告」は全て自由論題報告です。自由論題報告は、広告理論および実務のさまざまな分野から自由なテーマでの研究報告です。なお、研究報告の要領は以下のとおりです。

- (1) **報告者の資格**：本年度までの年会費を6月26日（金）までに納入済みの、日本広告学会正会員及び名誉会員。
- (2) **報告件数**：一人 1件。なお、共同研究で第一著者でない場合は、複数件の報告を妨げません。共同研究の場合、第一著者は必ず当日、報告して下さい。第二著者以降の報告は任意です。
- (3) **報告予定数**：18件程度。報告時間は30分（報告20分、質疑応答10分）とします。なお、報告件数については研究報告の応募状況により若干の変更があります。
- (4) **報告申し込み方法**：
 - ・「研究報告申込書」（学会ホームページからダウンロードしたもの）にご記入の上、大会運営委員会事務局宛にメールでお申し込みください。郵送およびFAXでのお申し込みはできません。
 - ・申込期限：2020年6月29日（月）23時59分。
 - ・その後、『大会報告要旨集』原稿（A4用紙4ページ程度）を、8月9日（日）までにご提出いただきます。その作成要領は、6月中旬を目処に学会ホームページでダウンロードできるようにします。

- (5) **報告者の決定**：大会運営委員会が研究報告要旨の内容を検討し、決定いたします。結果は、応募された会員宛に、9月中旬までにご通知いたします。

5. 今後の予定

第2号通信

- ・大会プログラム、大会参加申込手続き、大会参加費、懇親会費のご案内
- ・2020年9月中旬発行予定

6. 日本広告学会第51回全国大会運営委員会

大会運営委員

- ・委員長 井上一郎（江戸川大学）
- ・委員(50音順) 石崎徹（専修大学）、植田康孝(江戸川大学)、佐藤達郎（多摩美術大学）
芳賀康浩（青山学院大学）、松本大吾(千葉商科大学)

事務局

江戸川大学メディアコミュニケーション学部 井上一郎 研究室内

住所：〒270-0198 千葉県流山市駒木 474

電話：04-7152-9780（研究室直通）

E-mail：(list.jaa2020@edogawa-u.ac.jp) ※listとjaa2020の間に（ドット）が入ります

大会に関するお問い合わせは大会運営委員会事務局宛にお寄せください。
研究室を不在にすることが多いため、できる限りメールでご連絡ください。